

令和7年度 都立八丈高校 定時制課程における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	○「書くこと」「話すこと」の指導の充実	・読書活動後、POP作品の作成を行う。 ・短歌、俳句作品の作成を行う。 ・ショートスピーチの実施。	・文化祭でのPOP作品や短歌・俳句作品の展示を実施する。 ・探究学習発表の場においてプレゼンテーション発表を行う。
社会	○世界情勢の理解 ○何事にも問題意識をもたせ、「なぜ」と考える力の養成	・歴史的出来事を学ぶ上で、時代背景だけでなく、気候や風土、宗教、習慣など地域の特性を理解させる授業を実施する。 ・時事問題を取り入れ、問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施する。	・歴史的出来事の起こった過程や、時事問題が起きた過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業を実施する。
数学	○数学における基本的な概念や原理・法則の体系的理解	・新しく学ぶことを既習事項と結びつけられるような授業を実施する。 ・事象を数学的に考察できるような、教材開発を行う。	・ループリック評価を取り入れ学習到達速度を表を用いて測定する。 ・ICTを利用し、グラフや図形を視覚的に分かりやすくする。
理科	○「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	・探究の過程をふまえた実験を実施。 ・考察・推論したことや結論についてのパフォーマンステストを実施。	・探究の方法やレポートのまとめ方について学習させる。 ・実験結果や推論等を互いに共有させ、一歩踏み込んだ考察を行わせる。
保健体育	○運動の楽しさや喜びを味わわせ、心身の健康保持増進の理解を高めることのできる授業実践	・指導の重点について共有する。 ・種目ごと「学習カード」を採用する。 ・受講の心構えを初回授業で生徒に対して周知する。 ・保健、体育に関する科内研修を実施する。 ・理解力向上に向けた教材研究を行う。	・「学習カード」を活用し、考察を深めさせる取組みを実施する。 ・「体力テスト」の結果から、体力向上にむけた取組みをさせる。 ・保健は発表授業を実施し、表現の実践力を高める授業を実施する。 ・振り返って考察を深めたり、改善しようとする態度を評価に取り入れた授業を実施する。
英語	○英語と日本語の語順の違いに着目し、「簡潔な英語で話す」英語力の養成	・日本語による複雑な言い回しをそのまま英語に逐語訳しようとするのではなく、まず簡潔な日本語の表現に変換する練習を行わせる。 ・教科書で身に付けた基本表現をもとにして、基礎英単語で会話表現できるよう4年間かけて計画的に学習させる。	・教員による場面設定に合わせて、即興で簡潔な英語を用いて生徒同士で質問させる。 ・質問された生徒は英語での質問を聞き取り、理解したうえでわかりやすい英語で返答し、理解し合えるように工夫する。 ・互いの英語表現について学び合い、互いの表現力を向上させるよう授業を構成する。